http://joonji.jp

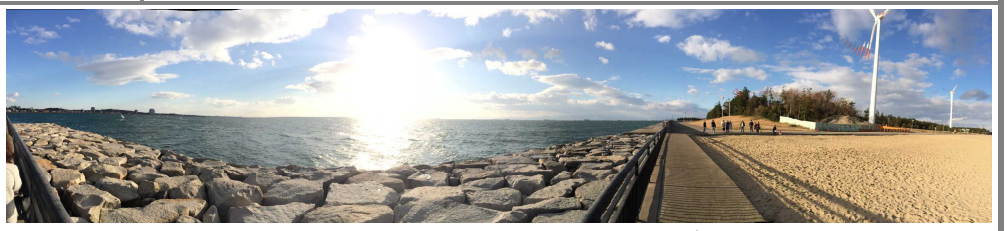
真宗大谷派
浄恩寺

浄恩寺　雅楽葬　検索

平成３０年　２月　第４０１号

浄恩寺同朋会報

電話　052−881−8474



新年一月もあっという間に過ぎてしまいました。それぞれのご家庭で、新年なら過ごし方があるのではないでしょうか？

私は、元旦、二日、三十一日と三日間休み、何となく恒例となっているパターンで過ごせました。

元旦、東別院に初詣。そして、新舞子のプルービーチ。毎年、愛犬プチの初散歩をしていました。下の写真は、昨年のもの。思い出がたくさんある場所なので、今年も家族で散歩しました。しつこく匂いをかいでいた場所、オシッコをかけていた場所・・話題は尽きませんでした。

プチの遺骨は、満中陰の日に、知り合いの仏具店にあった「ココリーノ（イタリア語かわいい子）」という名前の骨壺に納めて飾りました。

二日、いつもなぜか塩竈神社に参拝に行きます。子供たちも行きたいと言うので行っています。小さい神社ですが、高台にあり、大昔は海を見下ろす場所だったんだろうと思います。「海の神」が「産みの神」として信仰をされきた歴史はいものだと思います。

参拝の後は、行き先は毎年変わりますが、遊びに行きます。今年は、「東山動物園」でした。寒い日だったので、動物たちはほとんど建物の中でした。日向ぼっこする動物はまれでしたが、一瞬、ゴリラ舎で歓声が上がりました。「シャバーニ」一瞬姿を見せてくれました。

正月から縁起が良さそうです。引っ越しが無事に済むよう祈ります。

三十一日、岐阜県白鳥ウイングヒルズスキー場に一年ぶり行きました。今年は雪が多く、東海北陸自動車道から国道から林道、山道に入る前、一人なので迷った末にチェーンをはめて万全を期しました。無事ゲレンデに着いたものの終日吹雪。新雪を楽しむより、安全に滑るのが精一杯でした。膝の痛みもあり、早めに山を下りて、雪景色を楽しみました。

金剛山西圓寺、気になっていたお寺でした。交通量の多い国道沿いですが、落ち着いた静かなたたずまいのお寺。冬は白い衣をまといあでやかに感じられました。長良川を見つめるように立つ、親鸞聖人の「鏡御影」の像がとても存在感がありました。また、鐘楼の彫刻が素晴らしく、信仰の深さを物語っていました。何より、石碑「念仏者は無碍の一道なり」との信念の伝承が、厳冬を生きる力の源になっているようにも感じられました。

収納、耐久性を考えて下写真の椅子を三十脚発注致しました。